

情報かわらばん

田麦山に夢と誇りをつくる

500人プロジェクト通信



NO. 12

田麦山復興デザイン策定事業
2011.3.1-2012.2.29

2012年1月28日発行 通算12号

発行：田麦山地区連絡会 編集：田麦山に夢と誇りをつくる500人プロジェクト編集チーム

プロジェクトを見える化・現場の声が情報源・わかりやすく編集

地域資源をまとめた「田麦山の資源ノート」、完成間近！

田麦山に夢と誇りをつくる500人プロジェクト（田麦山復興デザイン策定事業）が大詰めとなってきました。今回は、未だに残したい田麦山の地域資源を冊子にまとめるための、最終の編集会議です。歴史文化資源調査班、食資源調査班、自然資源調査班に分かれ、形になってきた冊子の校正や追加情報の検討などを行いました。「この写真は撮り直すか」「ここはもっと詳しく表記にしよう」と具体的な表現方法について工夫や改善の声がありました。

2月末までに発行し、田麦山の全戸に配布される予定です。田麦山の宝物がまとまった冊子、どうぞお楽しみに！



夢で羽ばたく田麦山。夢は、見るもの？ つくるもの？ 誇りは、あるもの？ 育てるもの？ それとも、思い出すもの？ わき出すもの？ 答えはあなたの中に。

来年度の取組みや体制について、白熱した議論が交わされた。

来年度の事業案についてコーディネーターの大滝さんより素案が出され、それをたたき台として参加者で話し合いをしました。平成22年度、23年度と積み重ねてきた活動を無駄にせず、なんとか来年度に結びつけ、成果を出したいという想いは共有されました。

一方で、住民のみなさんの理解と参加を促進しながら進めていくにはどうしたらいいのか、誰が主体となって運営していくのか、課題がいくつか残りました。集落ごとに、住民のみなさんの理解を得る場を設け、再度2月の会合で来年度の取組みについて検討することになりました。「楽しく住める田麦山」というまちづくりの理念を実現するためには、みなさんのお力は欠かせません。ぜひご協力、ご理解の程よろしくお願い致します。



一年をふりかえる。

田麦山 拠点づくり ワークショップ



田麦山のまちづくりの拠点計画は、田麦山に夢と誇りをつくる500人プロジェクト(田麦山復興デザイン策定事業)の大きな柱の一つです。計4回のワークショップを通して、なんのために拠点をつくるのかという理念づくりから、拠点の将来イメージの共有、それを実現するための方法出しや計画におとす手順づくりまで、一つひとつステップを踏んでいきました。

「楽しく住める田麦山」という基本目標を目指し、もう一度、みんなの視線の先にあるピントを合わせるために、拠点をつくりたい!



2011.9.5 理念づくり

田麦山のまちづくりを行うにあたって、なぜ拠点づくりを行う必要があるか



今は地域内で様々な活動を行っているが、それぞれが違う方向を向いている。



子どもからお年寄りまでみんなが集まり一つになれる場が必要



拠点づくりの理念
みんなのピント(照準)を
合わせる

2011.9.24 子どもが考えた 公民館改造計画

子どもたちは、地域の宝。その宝をまちづくりに活かすために、子どもたちが考える拠点への想いやイメージについて聞きました。



パチ
パチ
パチ

2011.10.2 みんなの拠点づくりの 事例視察

コミュニティが経営する食堂兼サロンとNPO法人が運営する廃校利用の美術館&カフェを視察してきました。そこで活躍していたのは、女性たち。拠点づくりのキーマンは女性だということを改めて実感しました。



①図書館でいっでも楽しい本を
読めるようにしたい!

②体育館や学校にいっでも
入れるようにしたい

③体育館を飾り

でいっほいにしたい
④学校全体を使って
宝さがしゲームをしたい

⑤水曜日にカルタ大会を
やりたい(月3回)

⑥教室を

秘密基地にしたい!

2011.11.14

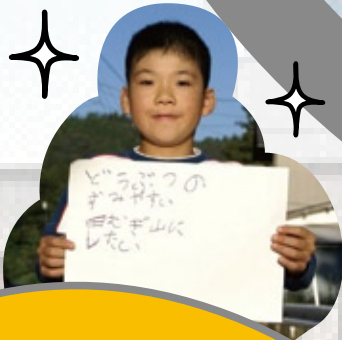
具体的な方法づくり

将来イメージを実現させるための具体的な方法・アイデアを出す



**段階を踏んで施設管理の在り方を
問い直し、関係者との協働で
新しい拠点整備を旨す。**

- ステップ1 行政との協議
- ステップ2 組織の立ち上げ
- ステップ3 利活用の計画づくり
- ステップ4 具体的な拠点ハード整備



来年は、子どもからお年寄りまで、住民のみんなが参加するワークショップを企画する予定です。みんなの想いのこもった、まちづくりの拠点を作りましょう！

楽しく住める 田麦山 実現へ



2011.10.5

拠点のイメージづくり

理念を基にした実現可能な拠点イメージとはどのようなものか



拠点の将来イメージ

**地域が責任を持って経営する
住民のための地域センター**

住民の健康
を維持する

子どもたちの
居場所

モノづくり
工房

住民の
交流サロン

各種イベント
実施会場

宿泊施設

2011.12.6

スケジュールづくり

拠点開設に向けて、これからやるべきことを時間軸に沿ってデータ化する

拠点づくり
ワークショップの
まとめ
(プロジェクト
通信に掲載)



第2回学習会の実施
(結城先生より
拠点の在り方
について学ぶ)

拠点づくりを進める
組織を強化する

拠点づくりのための
住民ワークショップ
を実施する

人材リストづくり
や体験メニュー
の開発をする

デザイン策定
報告書の完成



田麦山の自然を大切に 地区連絡会と地区協議会との連携と 田麦山の拠点づくりで地域をひとつにしたい。

連絡会メンバーコラム

田麦山地区連絡会
森山 実

田麦山は豊かな自然環境に恵まれている地域です。

田んぼ、相川をはじめその支流、ブナ林、など様々な美しい自然があります。春のトレッキングからはじまり、ほたる観賞、ブナ林コンサート、ロードレース、雪祭りなど、豊かな自然があるからできる行事だと思えます。

地域外の人達も、協力、参加していただいています。

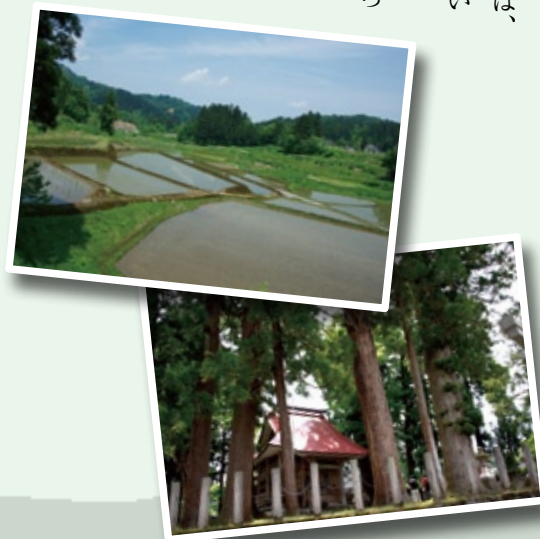
地区協議会と各団体が連携し、思いをひとつにして、公民館の活用のかたなど、話し合いながら皆で楽しめる拠点を作りたいと思います。

地域外の人が、気軽に集まれる場所として、お茶のみ、買い物、趣味の会、宿泊施設、体育館などを利用しながら、親子で参加できるイベントを行い、参加した人達がまた田麦山に行きたいと思える地域にしたいものです。

いろいろな方にお世話になり、貴重なアドバイスをいただきながら、たくさん

の地域資源を発掘でき、先進地視察では、閉校後の学校利用など、多く学ばせていただきました。

これからも地域の人がひとつになって、活力ある田麦山作りをしたいと思います。皆様のご協力お願いします。



今後の予定

1月28日(土):デザイン策定成果発表会
と第2回学習会

田麦山地区連絡会で進めてきた「田麦山復興デザイン策定事業」の発表会を行います。また、同時に第2回の学習会を開催します。第1回で大好評だった結城登美雄さんをお招きして、地域が運営する拠点の在り方について学びます。



2月:定例会

デザイン策定事業は、2月末が年度末のため、2月が今年度最後の定例会になります。来年度の方向性を決める重要な会になりますので、ぜひ皆さまご参加ください。日時は、1月28日の学習会にてご案内します。どなたでもご参加が可能です。

編集後記

「人づくり」は、「場づくり」と聞いたことがあります。直接的に人を変えることは難しいですが、人が集い、和を生み出す場をつくることで、人は変わっていくのだそうです。それは、まちにも当てはまると言えそうです。「まちづくり」は、「場づくり」。人が集う場ができると、まちはどう変わっていくのでしょうか。これからの田麦山の場づくり、まちづくりが楽しみです。

